

2007年に岡山市に本部がある国際協力NGOのAMDA<sup>※1</sup>（アムダ）と支援協定を結び、組合員募金をもとに緊急支援活動への支援金拠出を行なっている、おかやまコープ。10年10月からは、さらに「ザンビアプロジェクト」への支援も開始し、結び付きを深めている。AMDAの支援内容と活動への思いを関係者に聞いた。

## 岡山とザンビアとの チタンザーネ

「ザンビア共和国にも、『相互扶助』を意味する『チタンザーネ』という言葉があります。今回の支援は、おかやまコープの皆さんと現地の女性たちの間に生まれたチタンザーネ。募金をいただくだけではなく、彼女たちがおかやまコープの組合員さんのために何ができるかを考えるという宿題をいただいたと思っています」

2010年10月1日、おかやまコープが開催した「AMDA・MINDS（アムダ社会開発機構・マインズ）支援キックオフの集い」で、AMDAグループ代表の菅波茂<sup>すがなむしげ</sup>さんはそうあいさつした。

AMDAとは、岡山県に本部を置き、世界各地の被災地や紛争地域で



おかやまコープ理事長の三橋幸夫さんより、AMDAグループ代表の菅波茂さんへザンビアへの支援金が贈呈された。

の緊急救援活動、復興支援、自立支援などの人道支援活動を行なう国際協力NGO。おかやまコープは、07年10月にAMDAと支援協定を締結している。毎年10月を募金月間とし、これを財源にした「おかやまコープ国際協力支援基金（AMDA基金）」をつくり、緊急支援活動時には、ここから支援金を拠出している。「きっかけは『世界中で活動するAMDAを、おかやまコープも応援してほしい』という組合員さんからの1本の電話でした。海外で大きな災害が起こるとAMDAは緊急医療支援を開始しますが、その様子は地元メディアによつて岡山駅を出発するところから詳細に報道されるほど、岡山では知名度の高いNGOです。おかやまコープでは国際支援活動として二十数年前からユニセフを支援してきましたが、その声を

## 生協がつなく 地域と人びと

# 「途上国のために何かしたい」を形にする岡山発の国際貢献

おかやまコープ



店舗設置の募金箱には、AMDAの現地での活動を知らせる写真が使用されている。

アフリカ大陸

ザンビア共和国  
人口：1,262万人（2008年）  
首都：ルサカ（人口約140万人）

おかやまコープ店舗（コープ鴨方）内に置かれている、AMDA募金を呼び掛ける組合員手作りのパネル。

